

岩手中・高等学校
保護者・生徒・関係者各位

岩手中・高等学校
校長 和田健一郎

新型コロナウイルス感染拡大防止等について

日頃、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本県においても感染者が急増し、落ち着かない日々が続きます。本校においても可能な限りの感染症対策を施しながら、生徒たちの学びを保障した教育活動を目指しています。

また、運動部にとってのメインの大会である高総体も間近となってきました。県高体連からも「確認事項」としてコロナ感染症対策の基本的対処方針が下記のように通知されています。

記

1 競技大会前

(1)参加校は競技大会2週間前から県外での練習試合等を行わないこととし、感染リスク軽減に努めること。なお、県内の活動については、以下の点に留意すること。

ア 県競技団体、県高体連等が主催又は共催する大会については、事前に主催者が講じる新型コロナウイルス感染防止対策や会場となる地域の感染状況などを確認し、慎重に判断した上で学校長の許可のもと、参加出来ることとする。

イ 練習試合や合同練習をする場合は、所属地域での感染状況を慎重に判断し、1校対1校にとどめ、適切な感染防止対策及び3密の回避を施し実施すること。なお、合同チームは1校と見なす。

ウ 上記ア・イの参加にあたっては、必ず生徒本人と保護者の参加意向を確認し、その意向を尊重すること。

(2)競技大会参加にあたっては、必ず生徒本人と保護者の参加意向を確認し、その意向を尊重すること。

(3)参加校責任者は、参加する生徒の健康状態（検温・体調）を把握し、体調管理を徹底させること。

(4)宿泊が伴わない参加が望ましいが、やむを得ず宿泊を要する場合は、部員同士及び、他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止の配慮をすること。

(5)競技大会参加前日（会場入り前）までに陽性者や濃厚接触者等が確認された場合の競技大会参加可否については、所属校の判断・対応とする。

2 競技大会中

(1)大会当日、体調不良や発熱が疑われる者が出た場合は、その該当者と学校関係者（部員及び部顧問等、以下同じ）を接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関を受診させる。その際、診察結果が判明するまでは該当者を除く学校関係者は、体調管理をしながら参加出来る。しかし、該当者がPCR検査を受検することになった場合は、その学校関係者は大会出場を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つ。

※陰性の場合は、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。

(2)大会期間中、学校関係者内に接触者の可能性がある者や濃厚接触者が出た場合、その学校関係者は大会出場を取りやめ、保健所の指示を受ける。

※PCR検査を受検した学校関係者全員が陰性の場合は、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。

本校としても、県高体連の方針に準じますので予めご承知ください。感染してしまうことは仕方がないことですが、各ご家庭でも、ご子息に対してできる限りの感染症対策をとり、有意義な学校生活が送れるようご指導、ご協力お願い致します。

感染症予防に留意した生活について（お願い）

- ①マスク着用。手洗い、うがい、手指消毒の励行。
- ②毎朝、各自で検温をし、高熱や体調不良の場合は無理をせず欠席すること。
- ③部活動においても感染防止対策をしながらの活動となります。ただし、体調不良や感染に不安等がある場合は、顧問等にその旨を申し出て参加しないこと。
- ④感染者あるいは濃厚接触者となった場合は保健所等の指示に従い検査や治療等を行うこと。
また、濃厚接触者疑いや2次接触者等で、登校等に不安がある場合も必ず学校に相談・連絡をすること。 → 出席扱いとなる。
- ⑤感染リスクの高いといわれる施設等の利用は控えること。（3密回避）
- ⑥感染が流行している地域への移動は極力控えること。
やむを得ず移動した際は、感染が身近であることを意識して、慎重な行動（人ごみを避ける、ソーシャルディスタンス、手洗い、マスク着用等の予防徹底）をすること。移動先の都道府県の方針や感染予防の取り組みに十分配慮して行動すること。自分の体調の変化等に十分注意すること。
- ⑦規則正しい生活を心がけ、免疫力を高め、感染防止に努めること。

* 今後の感染状況によって、国や県あるいは市からの要請等が発令された場合は、対応策が変更となります。予めご了承ください。その際は、保護者メールやクラッシー、ホームページ上、プリント等でのアナウンスとなります。よろしくお願い致します。